経済・金融フラッシュ

企業物価指数 2025 年 9 月

～国内企業物価の上昇率は前年比 2.7%、先行きは鈍化予想～

経済研究部　研究員　佐藤　雅之
TEL:03-3512-1831　E-mail: m-sato@nli-research.co.jp

1.　国内企業物価の上昇率は前年比 2.7%

日本銀行が 10 月 10 日に発表した企業物価指数によると、2025 年 9 月の国内企業物価は、前年比 2.7%（8 月：同 2.7%）と上昇率は前月と変わらなかった。

内訳をみると 23 類別中、19 類別が上昇し、4 類別が低下となった。25 年 7～9 月使用分で電気・都市ガス代の支援策が再開されたが、前年は 8 月使用分から支援が実施され、補助額も前年のほうが大きかった。このため、25 年 8 月は物価の押し下げ要因だったが、9 月は押し上げ要因となっている。事業用電力は前年比 1.6%（8 月：同▲2.3%）とプラスに転じ、都市ガスは同▲3.5%（8 月：同▲7.7%）とマイナス幅が縮小したことから、電力・都市ガス・水道は前年比 0.7%（8 月：同▲3.1%）とプラスに転じた。

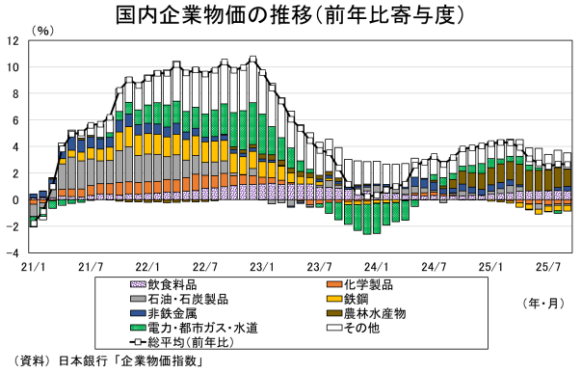
企業物価指数の推移

	国内企業物価		輸出物価（円ベース）		輸入物価（円ベース）	
	前月比	前年比	前月比	前年比	前月比	前年比
24年　8月	-0.3	2.7	-5.2	3.1	-6.2	2.3
9月	0.3	3.2	-1.8	-0.7	-2.9	-2.7
10月	0.5	3.8	2.5	1.2	2.9	-2.5
11月	0.3	3.9	1.9	2.9	1.6	-1.4
12月	0.4	4.1	-0.8	4.8	-0.7	1.2
25年　1月	0.3	4.2	1.2	4.3	1.5	2.1
2月	0.2	4.3	-1.3	1.5	-1.9	-1.2
3月	0.3	4.3	-1.1	-0.3	-1.6	-2.5
4月	0.3	3.9	-1.9	-4.3	-2.9	-7.3
5月	-0.1	3.1	-0.9	-6.6	-1.0	-10.3
6月	-0.1	2.8	0.1	-7.2	-1.5	-12.0
7月	0.2	2.5	1.6	-5.8	2.3	-10.3
8月	-0.2	2.7	0.4	-0.2	0.5	-3.9
9月	0.3	2.7	0.4	2.1	0.3	-0.8

（資料）日本銀行「企業物価指数」

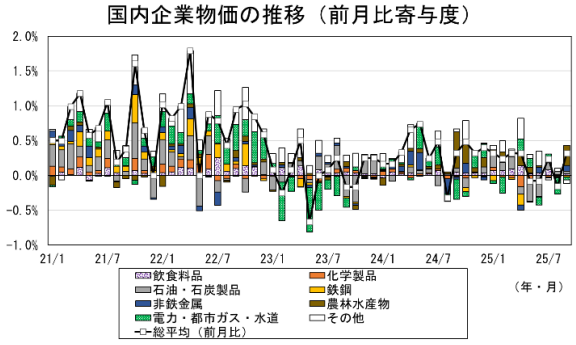
一方、コメは高い伸びが続いているものの、前年の急上昇の裏が出やすくなっている。精米は前年比 44.8%（8 月：同 72.4%）、玄米は同 54.6%（8 月：同 73.5%）と前月から伸びが大幅に縮小し、農林水産物は前年比 30.5%（8 月：同 41.0%）となった。そのほか、チョコレート（前年比 32.4%）、コーヒー（同 31.4%）、バター（同 12.4%）、すし・弁当・おにぎり（同 12.1%）などが 2 ケタの伸びとなり、飲食料品は前年比 4.7%（8 月：同 4.9%）と高い伸びが続いている。

国内企業物価の推移（前年比寄与度）



（資料）日本銀行「企業物価指数」

国内企業物価の推移（前月比寄与度）



（資料）日本銀行「企業物価指数」

 | Copyright ©2025 NLI Research Institute All rights reserved

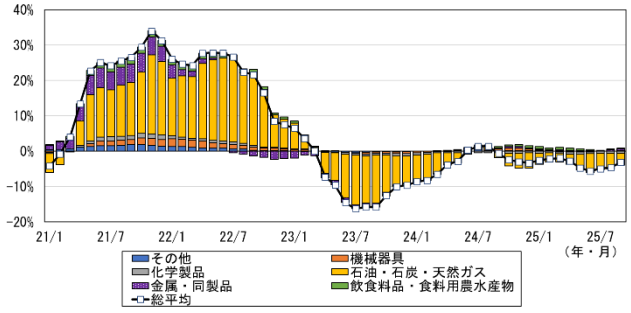
2. 契約通貨ベースの輸入物価は前年比▲3.2%

9 月の契約通貨ベースの輸入物価は、前年比▲3.2%（8 月：同▲4.6%）と 13 ヵ月連続のマイナスとなった。内訳をみると、ガソリンが前年比▲3.4%と 14 ヵ月連続のマイナス、ジェット燃料油が同▲5.7%となったことなどから、石油・石炭・天然ガスは前年比▲11.6%（8 月：同▲14.9%）と 13 ヵ月連続のマイナスとなった。

一方、前月比では 0.1%（8 月：同 0.0%）と、前月から小幅にプラスとなった。内訳をみると、原油が前月比 1.3%、ガソリンが同 1.1%と上昇したことなどから、石油・石炭・天然ガスは前月比 0.4%（8 月：同 0.3%）とプラスに寄与した。一方、コーヒー豆・カカオ豆が前月比▲11.5%（8 月：同▲4.8%）、ジュース・ミネラル・ウォーターが同▲11.1%（8 月：同▲4.7%）といずれもマイナス幅が拡大したことなどから、飲食料品・食料用農水産物は前月比▲0.8%となった。

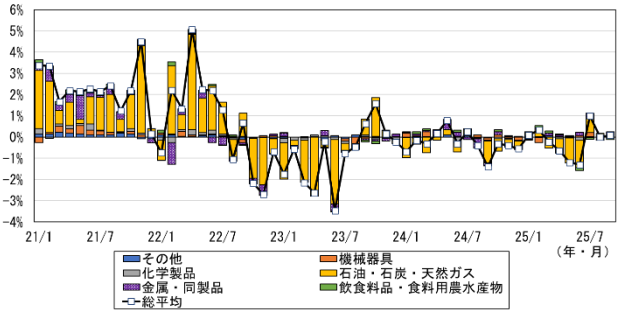
9 月の為替相場は、対ドルでは 148 円台（前月比 0.2%）と 8 月から円安ドル高で推移したことで、円ベースの輸入物価は前月比 0.3%（8 月：同 0.5%）と 3 ヵ月連続のプラスとなった。

輸入物価指数の前年比推移（契約通貨ベース）



（注）機械器具：はん用・生産用・業務用機器、電気・電子機器、輸送用機器
その他：繊維品、木材・木製品、その他産品・製品
（資料）日本銀行「企業物価指数」

輸入物価指数の前月比推移（契約通貨ベース）



（注）機械器具：はん用・生産用・業務用機器、電気・電子機器、輸送用機器
その他：繊維品、木材・木製品、その他産品・製品
（資料）日本銀行「企業物価指数」

3. 先行きの国内企業物価の上昇率は鈍化すると予想

先行きの国内企業物価は、鈍化に向かうことが予想される。前述のとおり、コメは前年の急上昇の裏が出やすくなることから、コメ価格の前年比の伸びは次第に鈍化していくことが見込まれる。

足もとで円安ドル高が進行しているため、輸入物価の上昇リスクに留意が必要だが、コメを中心に食料品価格は鈍化していくことが見込まれ、国内企業物価の上昇率は 2025 年末にかけて前年比 1%台へと低下していくと予想する。

本資料記載のデータは各種の情報源から入手・加工したものであり、その正確性と完全性を保証するものではありません。
また、本資料は情報提供が目的であり、記載の意見や予測は、いかなる契約の締結や解約を勧誘するものではありません。